

NISSAN
MOTOR CORPORATION

日産グローバル 行動規範冊子



目次

—————	—————	—————	—————
—————	—————	—————	—————
—————	—————	—————	—————

行動規範について

日産グローバル行動規範（以下、本冊子内では「行動規範」と呼びます）には、私たちの日々の業務活動を支え、導くための核となる9つの原則が織り込まれています。行動規範は、日産のミッション、価値観や信条を反映し、職務上の基準、倫理規範や誠実さの基準と結びつくものです。行動規範は、会社のポリシーや規則、法律や規制、並びに、社会規範を遵守した上で、日産が公正かつ誠実な事業活動を行う助けとなります。



CEOメッセージ

従業員のみなさんへ

グローバル行動規範(以下、行動規範)は法令や規則を遵守し、正しい方法でビジネスを行うための原則を定めたもので、私たちのコモンセンスとなるものです。行動規範の原則の理解をより深めることで、皆さんの業務の実用的な助けとなるように、本冊子を発行します。

この数年、企業を取り巻く環境は急速に変化しており、今後、私たちの事業の在り方は大きく変わっていきます。その中では、これまでのやり方の延長線では対応できないケースも増えていくと考えています。

こうした変革期を乗り越える上で大切なことは、これまでの良い点をさらに伸ばす一方で、時代の変化にあわせ、変えるべき点は勇気を持って変えることだと考えています。既成概念にとらわれていたり、変化を恐れていては、未来を切り拓くことはできません。

お客さまや社会に必要とされる会社であり続けるために、私たちは今後もイノベーションに挑戦を続け、日産の企業価値を高めていく必要があります。事業環境や社会通念の変化に準じて、自身の認識や仕事のやり方をアップデートし続けることも求められます。その過程において、社員一人ひとりが行動規範を遵守することは不可欠です。

正しい行動や適切な意思決定について分からないことがあれば、あなたの上司や同僚に助言を求めてください。それは率直に対話したり、信頼を築いたり、誠実に行動することの一部です。

また、行動規範の違反に気づいたり、懸念が生じるようなことを見かけたら、迷わず声をあげてください。日産は、誠意をもって違反行為を報告した従業員に不利益が生じることがないように、皆さんを保護することをお約束します。

そして、組織をリードする立場にある方々には、倫理的な行動を体現する模範となって、行動規範の理解と実践の促進に努めていただきたいと思います。

ルールを守り、正しい行動をとることは社員一人ひとりの責任であり、それが組織として大きな力を生み出すことにつながります。本冊子を活用することで行動規範の中身をしっかりと理解し、日々の業務の中で、自身の行動を常に振り返って頂きたいと思います。それが企業の信頼向上と、日産の更なる成長につながると信じています。

内田誠

本冊子を通して

倫理的な意思決定を行う

行動規範は、私たちが業務上の倫理的な板挟みに対処したり、情報に基づく意思決定を行ったりする時に役立ちます。

エシックス(倫理)は必ずしも白黒つけられるものではありません。違反行為を見分けることは、時には難しく、紛らわしいものです。行動を起こす前に、次の3つの点を、自分自身に問いかけてみてください。

法に反して
いないか?

日産の価値観や
行動規範に
則しているか?

日産にとって
最善か?

ひとつでも「いいえ」がある場合、また、分からない場合には、立ち止まって周りに助けを求めてください。



私たちの責任

行動規範は、日産で働く全ての人に適用されます。私たち一人一人は、行動規範および日産ウェイを守る責任があります。

エシックス(倫理)やコンプライアンスについて懸念や質問がある場合、または行動規範の違反に気付いた場合には、すぐに上司や人事、法務、コンプライアンスの部門に連絡するか、[SpeakUp](#) システムを通して報告してください。詳細は、「[実践・報告の義務\(Speak Up\)](#)」をご覧ください。



行動規範の9つの原則

この後に続く各章は、9つの原則を日々の業務で実践するための手引きとなります。

本冊子で取り上げた、すべきこと・すべきでないこと、事例、参考資料は、全てを網羅していません。行動規範の各原則に関する追加情報は、適用されるグローバル、リージョナル、ローカルの資料をご参照ください。

法律およびルールの遵守

日産の従業員等は、日産社内のポリシーや規則に加え、事業活動を行う全ての国の法令・規則を遵守しなければなりません。

日産は、法律を守る責任を果たすことを約束しています。どの法律や規制が自分の仕事や自分の仕事の進め方に影響するのか、理解してください。疑問がある場合には、上司や人事、法務、コンプライアンスの部門に問い合わせてください。

日産には、仕事を進めるために、ポリシーやルール、基準書、手順書など、他にも様々な種類の情報源があります。自分の業務に適用されるものがどこにあり、どのように従うのか、理解してください。

すべきこと

- 初めての業務をする時には、上司にルール・基準を確認して、学ぶこと。
- 上司にルール・基準や必要なツールの在処を教えてもらうこと。
- 必要な教育・研修を受けること。

すべきでないこと

- 法律やルールを故意に無視すること。
- 事前の準備や必要な確認をせず、自己判断ですぐに業務に着手すること。



詳細

[日産グローバル
ポリシー](#)

安全の推進

日産は安全と健康の促進に取り組んでいます。日産の従業員等は安全に業務を遂行し、健全な職場環境を促進しなければなりません。さらに、日産はお客さまと搭乗者および歩行者の安全を確保することに細心の注意を払っています。そのために日産の従業員等は、製品の安全性や安全策を継続的に推進し、交通安全への意識を高めなくてはなりません。

日産は、業務上のプロセスと経営判断に製品の安全性の観点を実実に組み込むことで、従業員、お客さま、そして地域社会の安全に配慮しています。

私たちは、トップから社員一人ひとりに至るまで、全員が職場環境の最適化を図り、心身にわたる健康増進を積極的かつ継続的に進め、災害事故や疾病のない明るく活気ある職場づくりを推進します。



すべきこと

- 安全に関する全ての法律、ガイドライン、手順や労働安全衛生管理システム（OSHMS）に関する全ての手引きについて学び、従うこと。
- 保護具が必要な場所で作業をする場合、また、その職場に立ち入る時には、適切な保護具を着用すること。
- 安全のため、職場ではお互いに目を配ること。

すべきでないこと

- 安全性の問題について黙っていること。
（もしも安全に関する懸念を見つけた場合には、業務を停止して直ちに上司に伝えてください）
- 正しい保護具の着用や安全に関する教育が無いままに、職場での作業を開始すること。



5S活動

5S活動に取り組むことで、安全衛生の目標を達成することができます。

5S活動とは：

- 整理
- 整頓
- 清掃
- 清潔
- 躰



詳細

[労働安全衛生グローバルポリシー](#)

利益相反行為の禁止

従業員等は日産の利益を考えて行動することが期待されています。会社の利益に反して、行動・活動したり、情報を使用したりしてはなりません。さらに従業員等は、利益相反と見られるような状況を避けるように努めなければなりません。

私たちは高い倫理基準を通して信頼を築き上げます。どのような時も必ず、業務上の意思決定が会社にとって最善であることを確かめ、開示されていない個人的な利益を含んでいたり、含まれているように見られたりしないようにしてください。

もしも利益相反の可能性、あるいはそれになりそうな状況があれば、開示してください。開示のプロセスは地域や現地のルールによって異なる場合があります。適用されるプロセスについては、ご自身の地域や会社を管轄するコンプライアンスの部門にお問い合わせください。



すべきこと

- 潜在的な利益相反の見分け方を学ぶこと。
- 個人的な利益や関係性ではなく、日産にとって最善の利益に重点を置いて業務をこなすこと。
- 業務上、贈答品の授受や食事に応じる場合には、ポリシーに従うこと。
- ほとんどの利益相反は適切な手続きを踏めば対処できることを覚えておくこと。潜在的な利益相反については直ちに開示すること。

すべきでないこと

- 不適切な利益を得るために、報酬、贈答や接待の要求や申し出を行うこと。
- 利益相反を生み出す業務上の意思決定に関与すること。例えば、近親者や個人的な友人を雇用し、日産の取引相手とすること。
- 個人的な利益のために、業務上知り得た情報や連絡先を使用すること。

以下は、利益相反と**なり得る**一般的な状況の例です。

- **経済的利益**— サプライヤー、お客さま、または競合他社に対して、高額の投資や個人的に取引を行っている場合。
- **勤務先**— 家族の一員が日産や日産の関連会社、または競合他社で働いている場合。
- **政府機関や非営利団体の業務**— 非営利団体や政府機関でリーダー的地位や公式な役割を引き受けている場合。



詳細

[グローバル贈収賄防止、贈答品・接待ポリシー](#)
[グローバル利益相反規程](#)

会社資産の保護

日産の従業員等は会社の資産を保護し、守らなければなりません。許可なく資金や企業秘密、物的資産、社有車、知的財産を含む会社資産を使用することは禁じられています。

会社の資産や情報を使用することで、私たちの業務は成り立っています。全ての会社資産を大切に扱ってください。資産には、業務上、使用する備品や設備のみならず、役割上、接する機密情報も含まれます。従業員やサプライヤーなどのサードパーティ、そしてお客さまの個人情報も、会社資産と同様に敬意を払って保護しなければなりません。

日産の資産は、紙媒体の記録、会社からの支給品、設備、機械、什器、建物、土地、製品、部品、金属スクラップなどの利材のような有形資産や、特許や知的財産、著作権、ビジュアルアイデンティティ、アイデア、デザインなどの無形資産などを含みます。日産の資産には、株式や債券、ローンや預金、ソフトウェア、システム、そして会社内のファイルやサーバーに格納されているデータなど、金融資産や情報資産も含まれます。



すべきこと

- 全ての会社資産を、損傷、不正使用、窃盗そして悪用から保護すること。
- 業務中や移動中にパソコンや他の備品を適切な方法で保護すること。
- 個人情報および機密情報の取り扱いについて社内の決まりに従うこと。
- 会社の資金を公正に扱い、金銭的な取引を正確に記録すること（「透明性と説明責任の確保」をご覧ください）。

すべきでないこと

- 日産の備品、サーバー、情報またはコミュニケーションネットワークを悪用すること。
- 承認を取り付けることなく、物的資産を移動・売却すること。
- ソーシャルメディアに機密情報を投稿すること。
- ポリシーの定めを逸して、個人的活動のために会社の資産を使用したり移動させたりすること。



詳細

[グローバルデータプライバシーポリシー](#)

[情報セキュリティ・ポリシー](#)

[日産知的財産ポリシー](#)

[デジタル日産資産の保全と保護](#)

[グローバル記録管理ポリシー](#)

[ソーシャルメディア](#)

[Vehicle Cyber Security Management System \(CSMS\)](#)

[資産管理グローバルポリシー（非製造領域）](#)

公平・公正な関係

日産の従業員等は、ビジネスパートナー（販売会社、部品メーカー、その他の関係先）のみならず他の従業員等とも、公平かつ公正な関係を維持していかなければなりません。

日産の成功は、ビジネスパートナー（取引先）と私たち従業員との強いつながりにかかっています。私たちの関係性は、全て信頼と公平性に基づくものです。

ビジネスパートナー（取引先）の選定、市場での競争、または従業員のマネジメントを行う際には、法律、日産のポリシーやリスク管理の手順に従い、確実に公平で一貫した対応をするようにしてください。

すべきこと

- 公正かつ透明性のある競争を行い、全ての独占禁止、競争、商取引の法令に従うこと。
- 従業員の評価やサプライヤーなどのサードパーティの選定において、公正で一貫性のある指標を用いること。
- 全てのビジネスパートナー（取引先）との取引において、リスク管理の手順に従うこと。

すべきでないこと

- 公正な競争を阻害すると見られる活動を競合他社と行うこと。
- 日産のポリシーに則った適切な検討・選定を経ていないサプライヤーやサードパーティと業務を行うこと。



詳細

[グローバル贈収賄防止、贈答品・接待ポリシー](#)

[日産グローバル独占禁止ポリシー](#)

[日産の慈善寄付に関するグローバルポリシー](#)

[グローバルサードパーティ・コンプライアンスリスク管理ポリシー](#)

透明性と説明責任の確保

従業員等は帳簿と記録を誠実に管理しなければなりません。日産の従業員等は、株主、経営陣、お客さま、他の従業員等、地域社会等の関係者に対し、企業活動に係る情報を公平性と透明性をもって、適時・適切に開示しなければなりません。

私たちの業務上の記録や情報は、正しい決断を下し、将来の計画を立てるために役立ちます。記録する情報が正確かつ完全であり、最新であることを確認してください。

業務を通して、まだ公に知られていない日産や他社の情報について知り得るかもしれない。そのような情報の取り扱いには細心の注意を払ってください。その情報を取引に使用したり、他者と共有したりすることは、深刻な違法行為であるインサイダー取引につながります。



すべきこと

- 全ての取引、資産や支出を、完全かつ正確に、そして適切なタイミングで計上すること。
- 日産のポリシーに則って、記録を保管・廃棄すること。
- 社内の意思決定を行う前には、必ず権限委譲 (DOA) のルールを確認すること。
- インサイダー情報は、知る必要がある相手のみと共有し、不測の漏洩から守ること。

すべきでないこと

- インサイダー情報に基づいて、または日産のブラックアウト期間中に、個人的な投資の決定をする、あるいは他者に投資を促すこと。
- 会社の経営、KPI (重要業績評価指標) や会計について、他者に誤解を与えたり誤った情報を与えること。



インサイダー情報とは何か？

インサイダー情報は、一般的な投資家が株式の売買を決断する上で重要だと考える、まだ公に発表されていない情報全てです。企業合併や新商品の発売、新規の取引関係、決算などの未公開情報が含まれます。



詳細

[グローバルデータプライバシーポリシー](#)

[グローバルDOAポリシー](#)

[情報セキュリティ・ポリシー](#)

[グローバル内部者取引防止管理規程](#)

[品質マニュアル](#)

[グローバル記録管理ポリシー](#)

[Total Industry Volume \(TIV\) データマネジメント](#)

[グローバル税務ポリシー](#)

多様性の尊重と機会平等

日産は従業員等および取引先、お客さま、地域社会の多様性、公平性および一体性（ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン）の原則を評価・尊重します。また、差別や報復、ハラスメントは、どんな形・程度にせよ容認されるべきではありません。

日産は、世界中の従業員の多様性を受け入れ、人権を尊重します。異なる経歴、能力や視点が尊重され、価値を見出されるインクルーシブな（多様性を受容する）文化を作り出すことに取り組んでいます。

日産では、いかなるハラスメントや差別も容認しません。私たちは共に力を合わせることで、従業員のウェルビーイング（肉体的、精神的、社会的に満たされた状態）を支え、お客さまの多様なニーズに応えるためにイノベーションをドライブし続けていきます。

日産は、人種、民族性、国籍、文化、宗教、性別、性的指向、性表現、性自認、障がい、婚姻など、その他の理由に基づくいかなる差別やいかなる形態のハラスメントも許さないこと、さらにはサプライチェーンにおける強制労働や児童労働といった人権侵害も容認していません。



すべきこと

- 全ての人に敬意をもって接し、異なる視点に耳を傾けること。
- 全ての求職者と従業員に均等な雇用機会を与えること。
- ハラスメントや差別として疑わしい出来事は、即座に報告すること。
- 意図せずにハラスメントとなってしまう可能性があることに細心の注意を払うこと。自分の意図がどうであったかではなく、相手が言動や行動についてどのように感じ取るか、またはどう反応するかにかかっているのです。

すべきでないこと

- 他者を差別すること。
- 職場でのハラスメントを容認すること。
- 日産の社内や、バリューチェーン(事業における一連の他者との関わり)の中で、人権侵害を知っている、あるいはその疑いがある場合に、目を背けること。



詳細

[グローバルDEIポリシー](#)

[ハラスメント防止ポリシー](#)

[日産の人権尊重に関する基本方針](#)

[グローバル鉱物調達に関する方針](#)

[グローバルサードパーティ・コンプライアンスリスク管理ポリシー](#)

環境保護

日産の従業員等は、製品を開発しサービスを提供する際、環境の持続可能性と保護に努め、リサイクル・省資源・省エネルギーを推進しなければなりません。

環境は、私たちの業務や地域社会を支え、維持してくれています。日産は、組織全体で持続可能性を高め、環境責任を果たすことを約束しています。

私たちは、2050年までにカーボンニュートラルを実現し、排出ガスを削減、新規採掘資源への依存を減らし、大気品質を保全し、水の使用量を抑えることを目指しています。業務を通じて、また、地域社会や世界中のどこにいても、一人ひとりが目標を達成するために貢献することができます。

すべきこと

- 業務における環境影響を減らすため、あらゆる機会を考えること。使っていない照明や機械の電源を切り、適切な温度設定にするなど、小さな行動でも違いを生み出すことができます。
- 環境への影響がある液体の流出や漏れ、その他の環境への懸念は、すぐに報告すること。
- 取引先を選定したり、協業したりする際には、環境への影響を評価すること。

すべきでないこと

- 納期や業務上の目標を理由に、法規制や社内の環境基準を守らないこと。



詳細

[グローバル環境ポリシー](#)

[グローバル鉱物調達に関する方針](#)

[グローバルサードパーティ・コンプライアンスリスク管理ポリシー](#)

実践・報告の義務 (Speak Up)

日産の従業員等は、この行動規範に従い業務を遂行しなければなりません。行動規範の違反を察知した場合には、速やかにその旨を報告する義務を負っています。

報告に際しては、グローバル内部通報システム「SpeakUp」の利用が推奨されています。あるいは、グローバル内部通報規程に従って報告している旨を伝え、上司、ローカル・リージョナルまたはグローバルのコンプライアンス室、人事部、内部監査室または法務室に報告することもできます。そして、違反行為の報告時に誠意をもって行動した従業員等は、報復を受けることがないよう保護されています。

声を上げることは、私たちの成功に不可欠なものです。日産の評判を継続的に向上させ、守ることにつながります。声を上げるということは、正しい行動が何かわからぬ時には、質問をしたり助けを求めたりすることです。また、倫理的な懸念や、法律、行動規範または日産のポリシーへの違反を報告することも意味します。



すべきこと

- 勇気を持つこと。質問や懸念があった場合にはすぐに声を上げて、助けを求めること。

連絡先:

- 上司
- 人事、法務またはコンプライアンスの部門
- [SpeakUp](#) システム
- 日産の行動規範や価値に沿わない行動や決定には、異を唱えること。
- 匿名での報告も選べることを覚えておくこと。日産は現地法が許す限り、機密を保持します。

すべきでないこと

- 倫理違反やコンプライアンス違反を黙認すること。
- 誠意をもった行動(真実であると確信している懸念についての報告)への報復を恐れること。
(日産はいかなる報復も容認しません。)



詳細

[グローバルコンプライアンスガバナンスポリシー](#)

[グローバル内部監査ポリシー](#)

[グローバル内部通報規程](#)



Code of
Conduct

2024

NISSAN
MOTOR CORPORATION